※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１９

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語コミュニケーションⅡ	4	第２学年	FLEX English Communication Ⅱ (増進堂)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅡでは、英語コミュニケーションⅠで身につけた「話すこと」「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をより発展させていく授業です。英語コミュニケーションⅠと同様に、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。積極的に参加してください。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。
常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
・音読は外国語学習の中でとても大切な練習のひとつです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いてる人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	ニュースや趣味についてのトピックなどが、ゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。	簡単な語彙や表現で書かれた小説や論説文を読み、概略やあらすじを適切に理解することができる。	聞いたり読んだりしたこと、経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合うなどして、結論をまとめることができる。	自分のことや身の回りのことについて簡単な紹介や説明をすることができる。基礎的な語彙や表現を使って、自分の考えや意見を伝えることができる。	身近な話題に対して読んだり聞いたりした内容に対する自分の考えや感想を、基礎的な語彙を用いて書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観 点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	本書で学習する文法に加えて、語彙や表現などの用法や意味を理解している。また、多様な英文から情報を読み取り、整理しながら理解したり、自身の考えや意見を学習したことを活用して発信したりする技能を身につけている。	日常的・社会的な話題の説明を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要や要点を的確に捉えている。また、本書で学習した内容について、自身の考えや意見を明確な理由や根拠とともに詳しく伝えている。	学習した内容を主体的･自律的に伝えようとしている。理解した情報ややり取りした内容について理由や根拠をつけて，文章を書こうとしている。 継続的な学習や活動の成果・結果からフィードバックを行い、改善を試みている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
１学期	Lesson 1 Lesson 2	聞くこと	a: 学んだ語句の発音を理解させる。 「受け身の不定詞」「受け身の進行形」「助動詞＋完了形」「受け身の完了形」の表現を理解させる。 b: 文中に登場する言葉や人物の説明を聞いて、理解させる。 c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら相手の発言を聞き取っているか。。	定期考査 （リスニング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
		読むこと	a: 「受け身の不定詞」「受け身の進行形」「助動詞＋完了形」「受け身の完了形」の表現を理解させる。 b: 文中に登場する言葉や人物の説明を読んで、理解させる。 c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読を続けているか。	定期考査 （リーディング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
		話すこと （発表）	b: 学んだ語句や文法を適切に用いて自分なりのフレーズを考えて発話させる。 c: 大きな声で積極的自分の英語で物事を他者に伝えているか。	スピーキングテスト さまざまな活動における パフォーマンスの評価
		話すこと (やりとり	c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けているか。	
		書くこと	a: 受け身の不定詞」「受け身の進行形」「助動詞＋完了形」「受け身の完了形」の使い方を身に付けさせる。 b: 学んだ表現を用いて、事物や人物の説明をさせる。 c: 学んだ表現を用いて、事物や人物の説明を積極的に行っているか。	定期考査 （ライティング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
	中間考査			
	Lesson 3 Lesson 4	聞くこと	a: 学んだ語句の発音を理解させる。 「If 節のない仮定法」「動名詞の意味上の主語」「as if を用いた仮定法」「疑問詞＋to *do*」の表現を理解させる。 b: 本文中に述べられる塩の役割やウミガメの直面する環境問題、その解決案を聞いて、理解させる。 c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら相手の発言を聞き取っているか。	定期考査 （リスニング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
		読むこと	a: 「If 節のない仮定法」「動名詞の意味上の主語」「as if を用いた仮定法」「疑問詞＋to *do*」の表現を理解させる。 b: 本文中に述べられる塩の役割やウミガメの直面する問題、その解決案を読んで、理解させる。 c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読を続けているか。	定期考査 （リーディング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
		話すこと （発表）	b: 学んだ語句や文法を適切に用いて自分なりのフレーズを考えて発話させる。 c: 大きな声で積極的自分の英語で物事を他者に伝えているか。	スピーキングテスト さまざまな活動における パフォーマンスの評価
		話すこと (やりとり)	c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けているか。	
		書くこと	a: 「If 節のない仮定法」「動名詞の意味上の主語」「as if を用いた仮定法」「疑問詞＋to *do*」の使い方を身に付けさせる。 b: 学んだ事柄について、自身の意見を適切に文章でまとめさせる。 c: 学んだ表現を用いて、自身の意見を積極的に文章でまとめているか。	定期考査 （ライティング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
	期末考査			
２学期	Lesson 5 Lesson 6	聞くこと	a: 学んだ語句の発音を理解させる。 「同格を導く接続詞 that」「関係副詞の非制限用法」「否定の分詞構文」「完了形の不定詞」の表現を理解させる。 b: 本文中に延べられる待ち時間の心理状態とそれを考慮した生活の中の工夫、ヒューマンライブラリーから学ぶ共生社会で生きる上で必要なことについて聞いて、理解させる。 c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら相手の発言を聞き取っているか。	定期考査 （リスニング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
		読むこと	a: 「同格を導く接続詞 that」「関係副詞の非制限用法」「否定の分詞構文」「完了形の不定詞」の表現を理解させる。 b: 本文中に延べられる待ち時間の心理状態とそれを考慮した生活の中の工夫、ヒューマンライブラリーから学ぶ共生社会で生きる上で必要なことについて読んで、理解させる。 c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読を続けているか。	定期考査 （リーディング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
		話すこと （発表）	b: 学んだ語句や文法を適切に用いて自分なりのフレーズを考えて発話させる。 c: 大きな声で積極的自分の英語で物事を他者に伝えているか。	スピーキングテスト さまざまな活動における パフォーマンスの評価

※令和４年度以降入学生用

		話すこと (やりとり	c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けているか。	
		書くこと	a: 「同格を導く接続詞 that」「関係副詞の非制限用法」「否定の分詞構文」「完了形の不定詞」の使い方を身に付けさせる。 b: 学んだ事柄について、自分なりのアイデアや意見を適切に文章にさせる。 c: 学んだ表現を用いて、自分なりのアイデアや意見を積極的に文章にしようとしているか。	定期考査 （ライティング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
	中間考査			
	Lesson 7 Lesson 8	聞くこと	a: 学んだ語句の発音を理解する。 「部分否定」「If S’ were to V’, S would V ….」「付帯状況の with」「受け身の分詞構文」の表現を理解させる。 b: 災害時の避難所の状況と坂茂氏が設計する建築、そこに込められた思いや感染症が広まった歴史と今後人類が感染症とどう向き合っていくかを聞いて、理解させる。 c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら相手の発言を聞き取っているか。	定期考査 （リスニング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
		読むこと	a: 「部分否定」「If S’ were to V’, S would V ….」「付帯状況の with」「受け身の分詞構文」の表現を理解させる。 b: 災害時の避難所の状況と坂茂氏が設計する建築、そこに込められた思いや、感染症が広まった歴史と今後人類が感染症とどう向き合っていくかを読んで、理解させる。 c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読を続けているか。	定期考査 （リーディング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
		話すこと （発表）	b: 学んだ語句や文法を適切に用いて自分なりのフレーズを考えて発話させる。 c: 大きな声で積極的自分の英語で物事を他者に伝えているか。	スピーキングテスト さまざまな活動における パフォーマンスの評価
		話すこと (やりとり	c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けさせる。	
		書くこと	a: 「部分否定」「If S’ were to V’, S would V ….」「付帯状況の with」「受け身の分詞構文」の使い方を身に付けさせる。 b: 学んだ事柄について、自分なりのアイデアや意見を適切に文章にさせる。 c: 学んだ表現を用いて、自分なりのアイデアや意見を積極的に文章にしようとしているか。	定期考査 （ライティング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
	期末考査			
３学期	Lesson 9 Lesson 10	聞くこと	a: 学んだ語句の発音を理解する。 「倒置」「完了形の分詞構文」「複合関係代名詞」「二重否定（肯定の意味を表す）」の表現を理解させる。 b: コンゴ共和国の実情とサプールの精神とは何なのか，Google を生み出したラリー・ペイジという人物が夢の実現するためのスローガンと夢をもつことに対して、どのような考えだったかを聞いて、理解する。 c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら相手の発言を聞き取っているか。	定期考査 （リスニング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
		読むこと	a: 「倒置」「完了形の分詞構文」「複合関係代名詞」「二重否定（肯定の意味を表す）」の表現を理解させる。 b: コンゴ共和国の実情とサプールの精神とは何なのか，Google を生み出したラリー・ペイジという人物が夢の実現するためのスローガンと夢をもつことに対して、どのような考えだったかを読んで、理解する。 c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読を続けているか。	定期考査 （リーディング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
		話すこと （発表）	b: 学んだ語句や文法を適切に用いて自分なりのフレーズを考えて発話させる。 c: 大きな声で積極的自分の英語で物事を他者に伝えているか。	スピーキングテスト さまざまな活動における パフォーマンスの評価
		話すこと (やりとり	c: ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けているか。	
		書くこと	a: 「倒置」「完了形の分詞構文」「複合関係代名詞」「二重否定（肯定の意味を表す）」の使い方を身に付けさせる。 b: 学んだ事柄について、自分なりの意見や考えを適切に文章にさせる。 c: 学んだ事柄について、自分なりの意見や考えを積極的に文章にしようとしているか。	定期考査 （ライティング） さまざまな活動における パフォーマンスの評価
	学年末考査			

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度